13

後

六文史

へ 13
2877

© The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
KODAK Gray Scale

へ13
2877
旧
へ13
1980
8
2877

明治寿語の
うちの
神奈化
國貞画

十四編上

明鴉の實録とゝを三亭子ゞ抉出〳〵る種ハ何処ゝ在〳〵
ゝゞ又此嗣編をも當歳ゝみ助て欲とゝ訛ゝ辭退ゝ〳〵ぬゞ
請込ゝゞ〳〵山畠の助左衛門ゝゝゝ権兵衛ハ兵衛の田舎作者土素の
脱ぬ土筆の毫ゝ續貂ゝんとゝ甚恥〳〵く延せゞ日毎苛催促
ゝゝ〳〵せ一度ゝ作ゞ〳〵ゝゝるまんいゞゝゝと机ゝ隠ゝゞゞゝ前年三編まゞ
綴〳〵後立消のゝ〳〵雪の笠松彼此同ゞ世界ゝゝゝゝゝゝゝの筋ゝのゝ
落ゝ〳〵田の水引ゝゝ〳〵簡ゝゝと畔の境目の補柳つゝゝつゝゝ其ハ
ゝゝ〳〵ゝ問屋の責を塞ゝ〳〵ゝ地性の腴のを蕪ゝのゝ作奴の鍬
鋒の鈍き故ゝ〳〵如何ゝゝゝゝ

文久二年
壬戌新春

柳亭主人

玄湖書

小織之助後松児
假粧坂町五町分

駒田家僕鷲森四郎平
無頼大鐘艮太郎

泡雪大盡
本名別あり
仲居お蚊帳

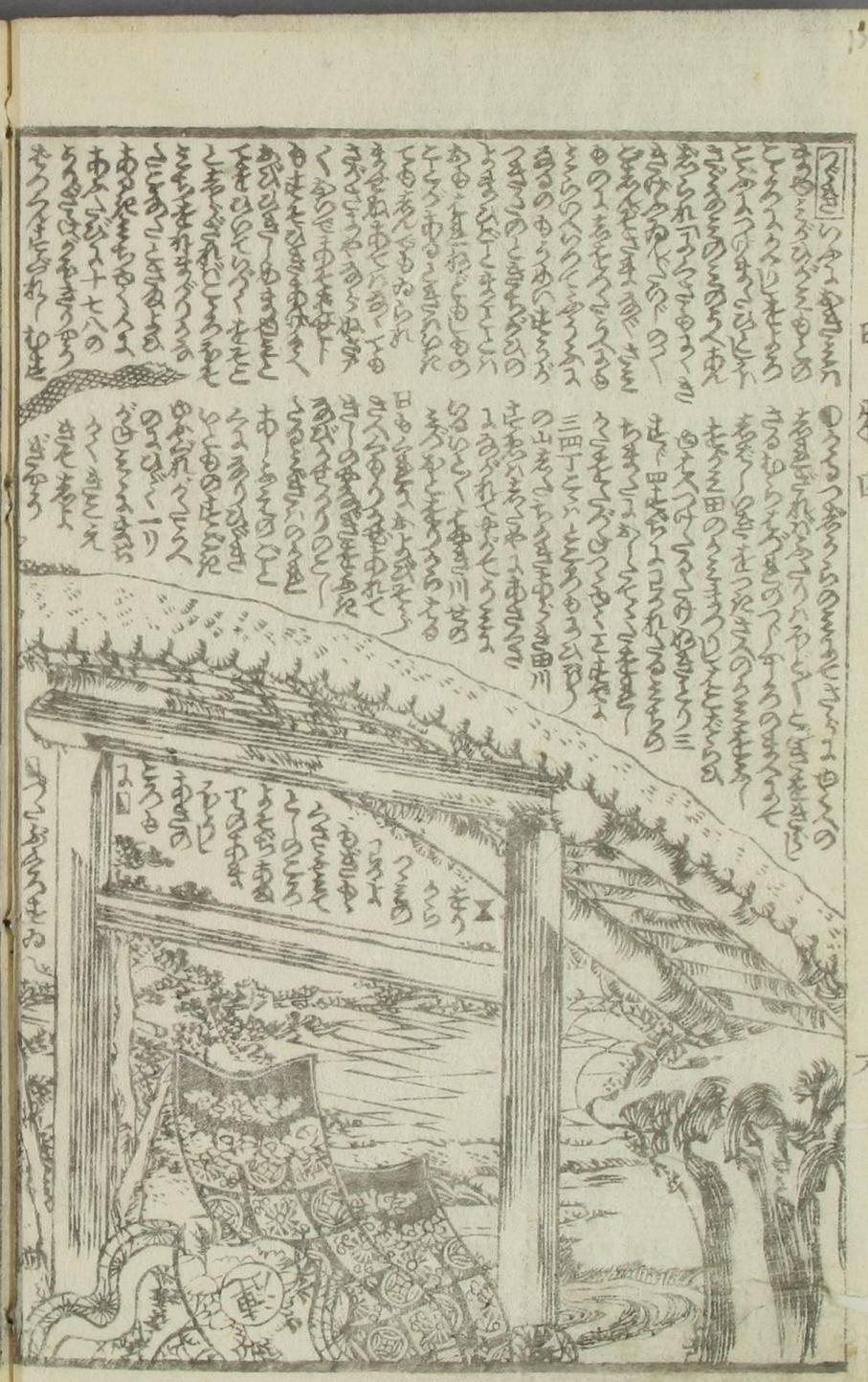
春日屋時次郎
木童翠

傾城浦里

鬼

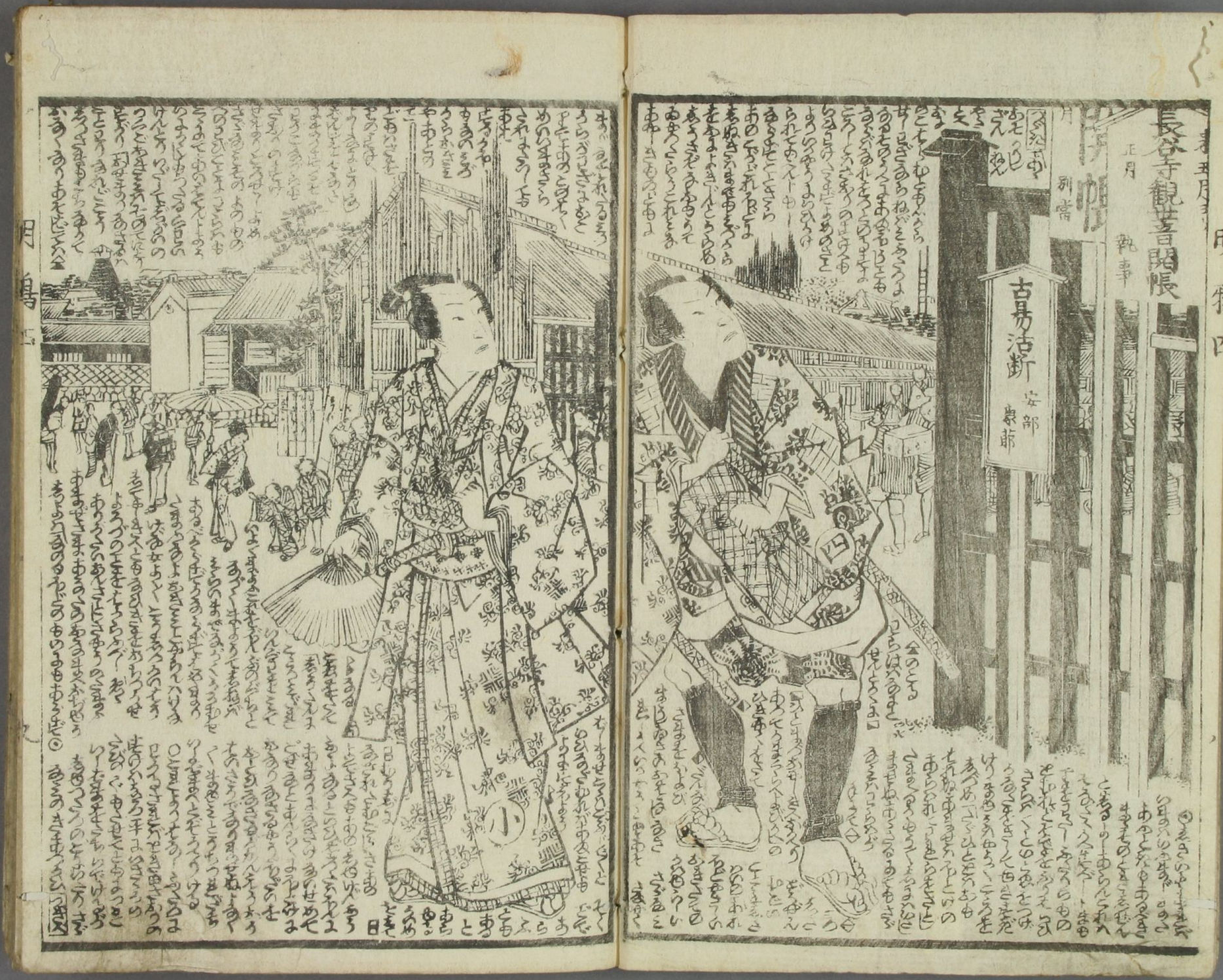
黒平
動静を窺ふ
到りて
分解

真



明鳥四
奥

明鳥四
奥


長谷寺観世音開帳
正月
執事
別當
吉易法斷
安部
泉節

月雪四

月雪四

種彦作
賣 安部康郎
國貞画
○此画上段下帙より

三
西政
月鳥四
小
志賀が詞

松苗鶴三郎

四
小

寶畧散
千葉堂

此婚賊の傳
末編

柳平
桜花排舞紀
五十

元治二年乙丑陽春開板標目

室町源氏胡蝶巻 五編より 八編まで 柳亭種彦作 梅蝶樓國貞画

新編九尾傳 馬琴作 蝶樓國貞画

假名情談戀畦倉 三編 如泉作 四編 國貞画

童謡妙々車 十八編 種彦作 十九編 國貞画

薄傳幻日記 十三編 春水作 十四編 國貞画

地本双紙問屋

筆海四國閑書 九編 種彦作 國貞画

明鶴墨画通俗繪 九編 種彦作 十一編 國貞画

花封忠臣章 九編 種彦作 十 國貞画

天傳人の双紙 四編 柳亭作 四編 國貞画

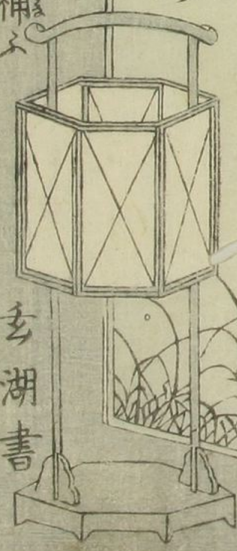
南伝馬町壹丁目 鶴屋吉蔵板

明鶯の世界い[illegible]つの如く[illegible]色の[illegible]
[illegible]の事[illegible]
紅葉堂の服[illegible]風流[illegible]の牡丹[illegible]
[illegible]より切る立[illegible]の

面白さ[illegible]と雪[illegible]の声[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]

文久二年開春　柳亭種彦

序文長[illegible]小織の助辛嵩の初會
矢風の外を輸郭[illegible]日本文の画の剛を補ふ



玄湖書

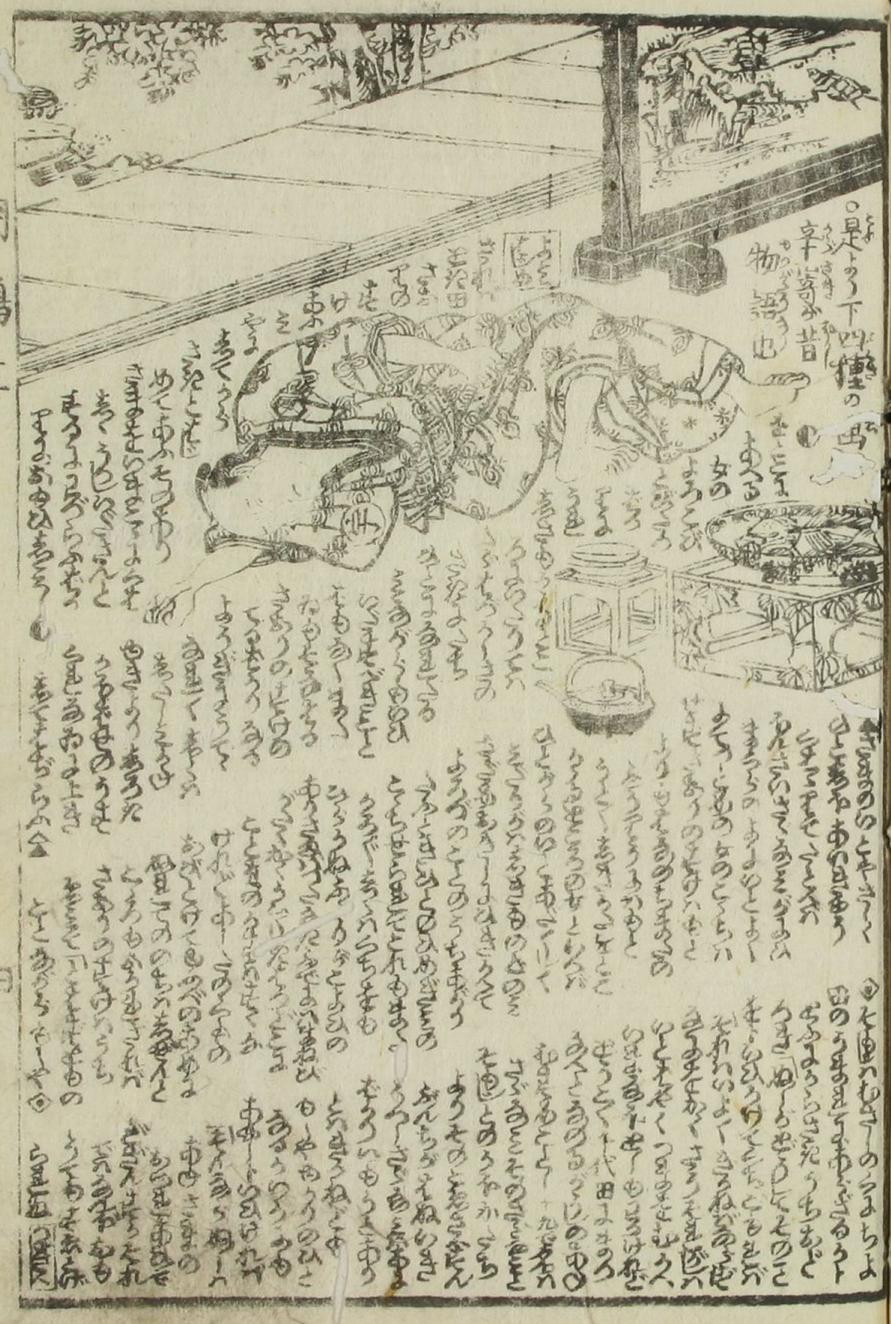
門附の娼婦

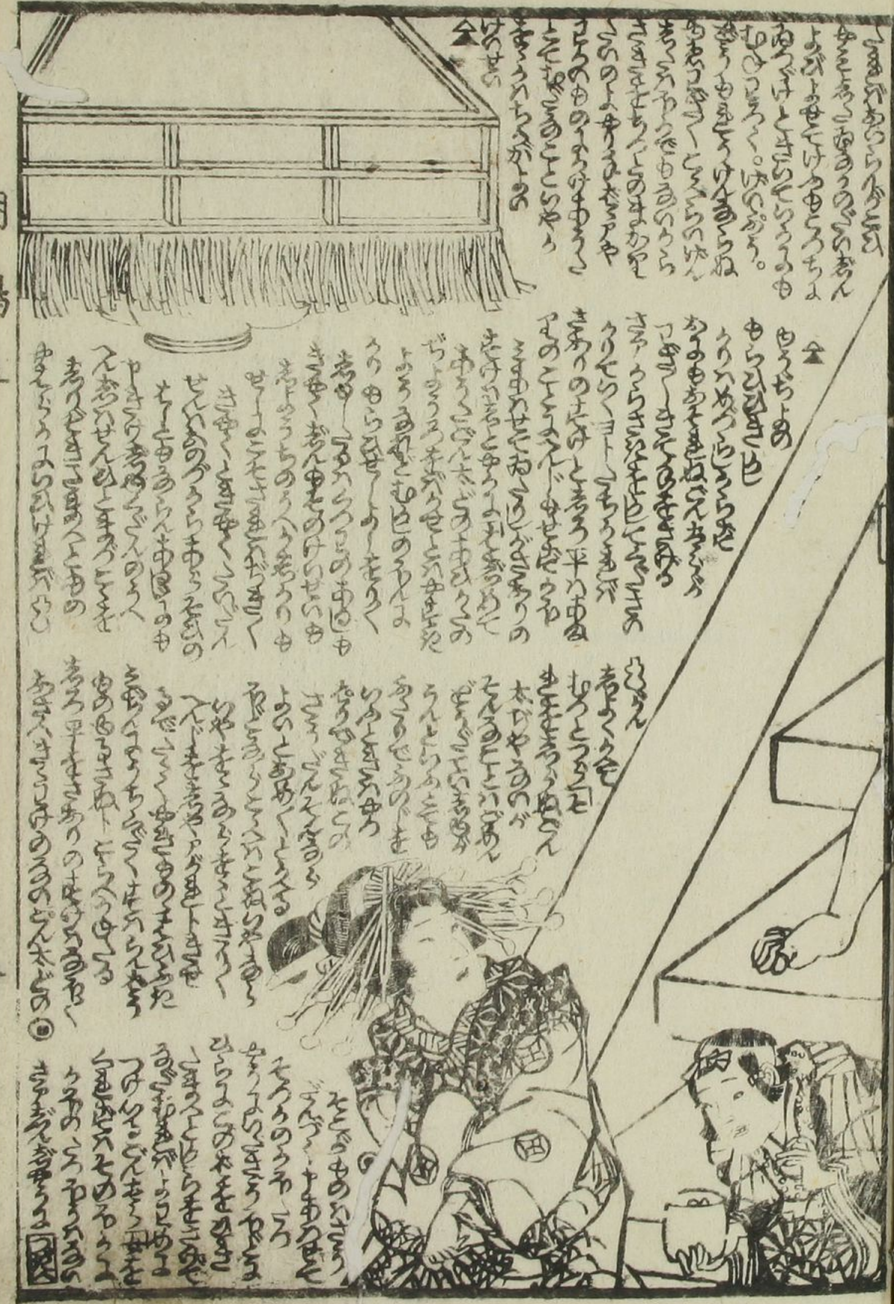
責ト
觀通舍
岸田畦
次郎方也
地廻り
細五郎
実ハ惡僕黑平

餅屋才子
二木松
後幇間
抹茶

武蔵金澤漁夫鐔作女
高根後山名屋女房お山獄

鐔作養子鐔市
後晌田次郎こうふ





種彦作

國貞画

◎でるものハ
あのぐん
ちゝの
いのち
あらば
あれてゐ
あやぶ
ゑたくき
ゑのよ
こゝら
ゑのよ
きゝ
ゆ

ゆ
あの田
いうまを
さまの
あくて
こゝもとくへ
ゑもとこうく
ゑをさまま
くらのかたち
あつやら
そこをりよく
どうちやうし
ひとをひとをも
ゑもとゆるもの
こゝもとゆ
ゑもとゆるもの
くらいちもの
くらぐこひとゆ
まうゆきのゆ
ゆうこてくきこ
全「いえく
ゆあうりやもうらゆどあれ
ゆんでこうらさとてのまゆもとそのの
うちがおやこうゆんよのひとと
いうどひとくるものこうくゆうよと
あこうゆがゆあとまことくゆこうこう
◎
つうまをいうまを
さまをいうゆこうの
かりうのゆあまが全

階堂左衛門尉

蛇小僧つを市

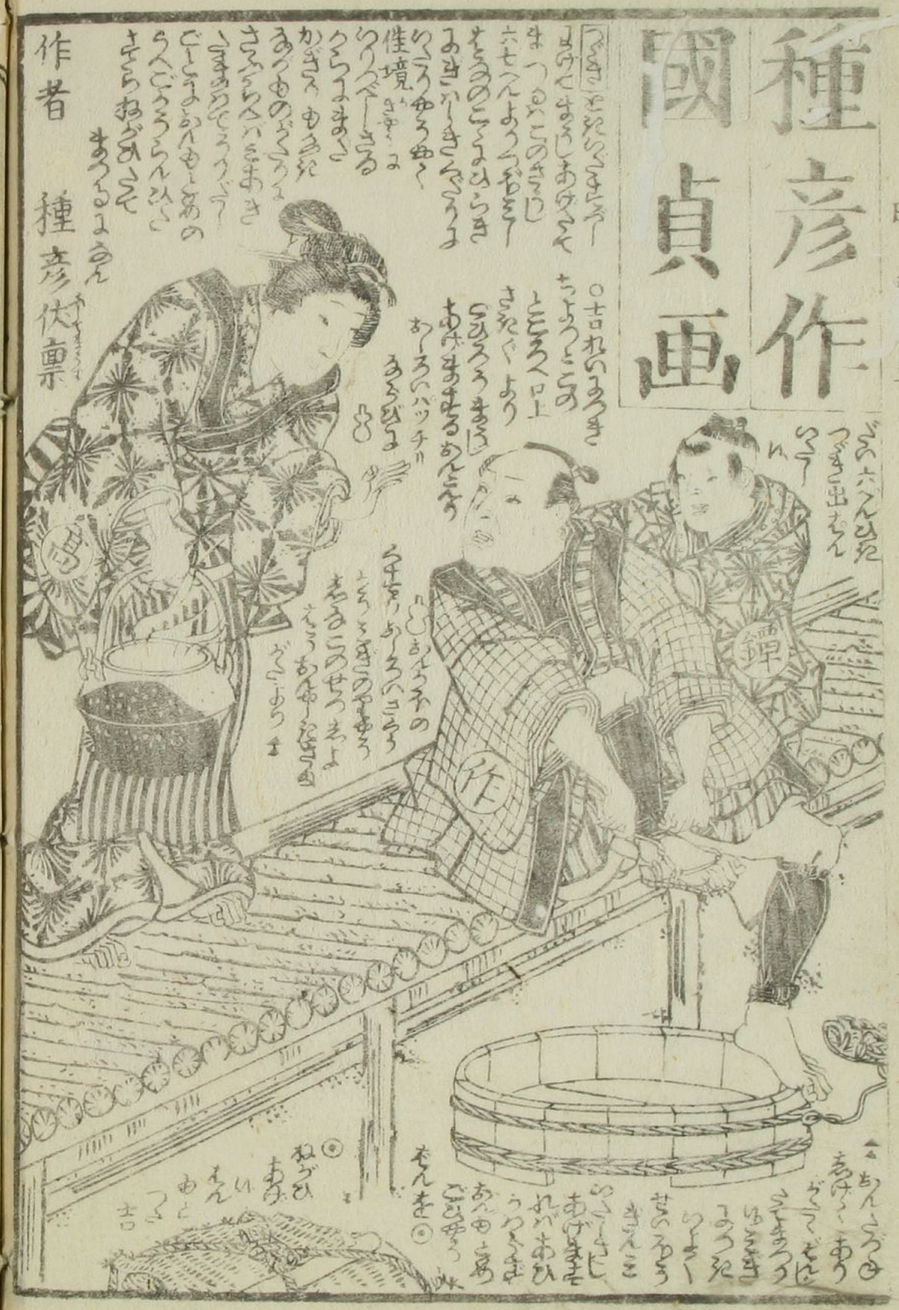
高

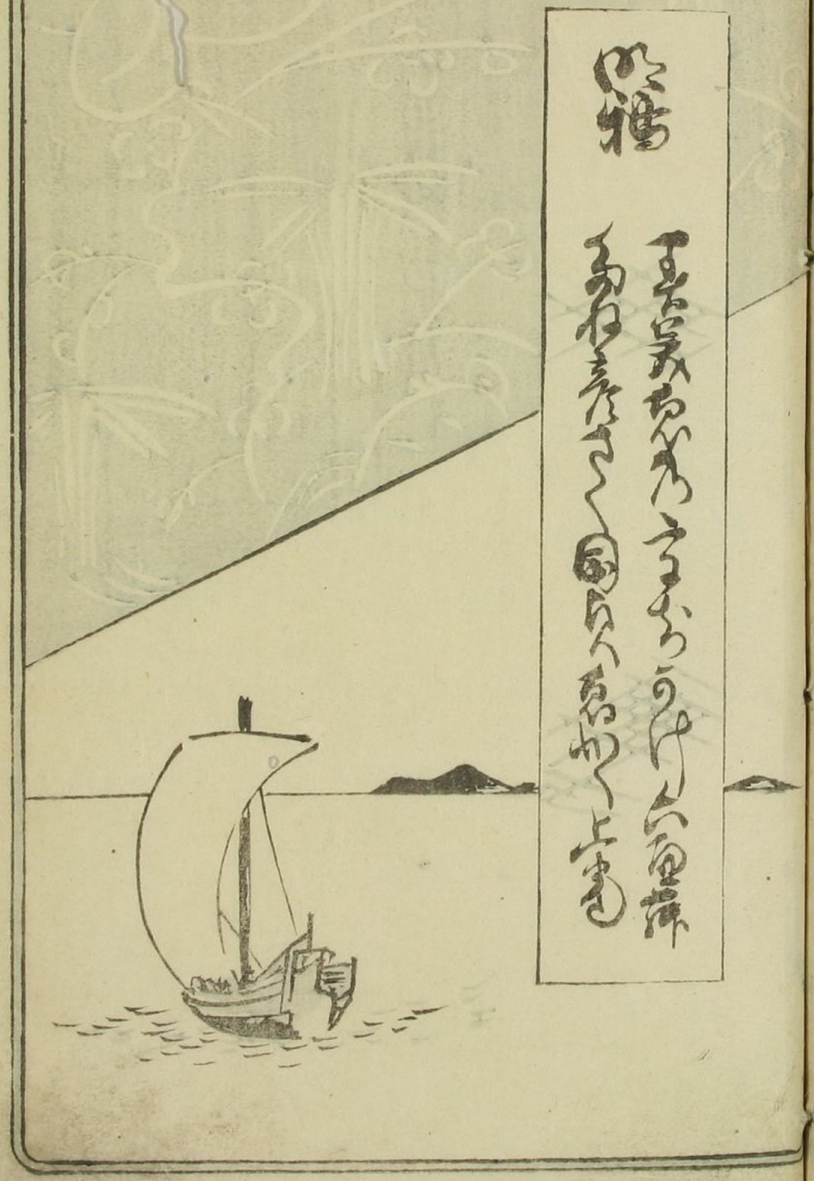
つを作玄房

猿僧其

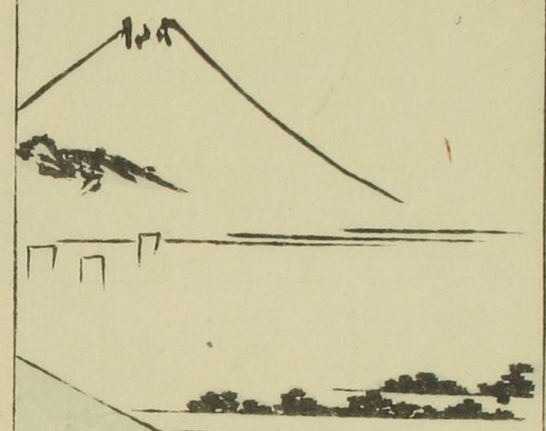
此一丁いつを市
嬰児のとを
墓出とい高
根が詞

鏡


種彦作
國貞画
作者
種彦伏稟



六編下
六編上



六下

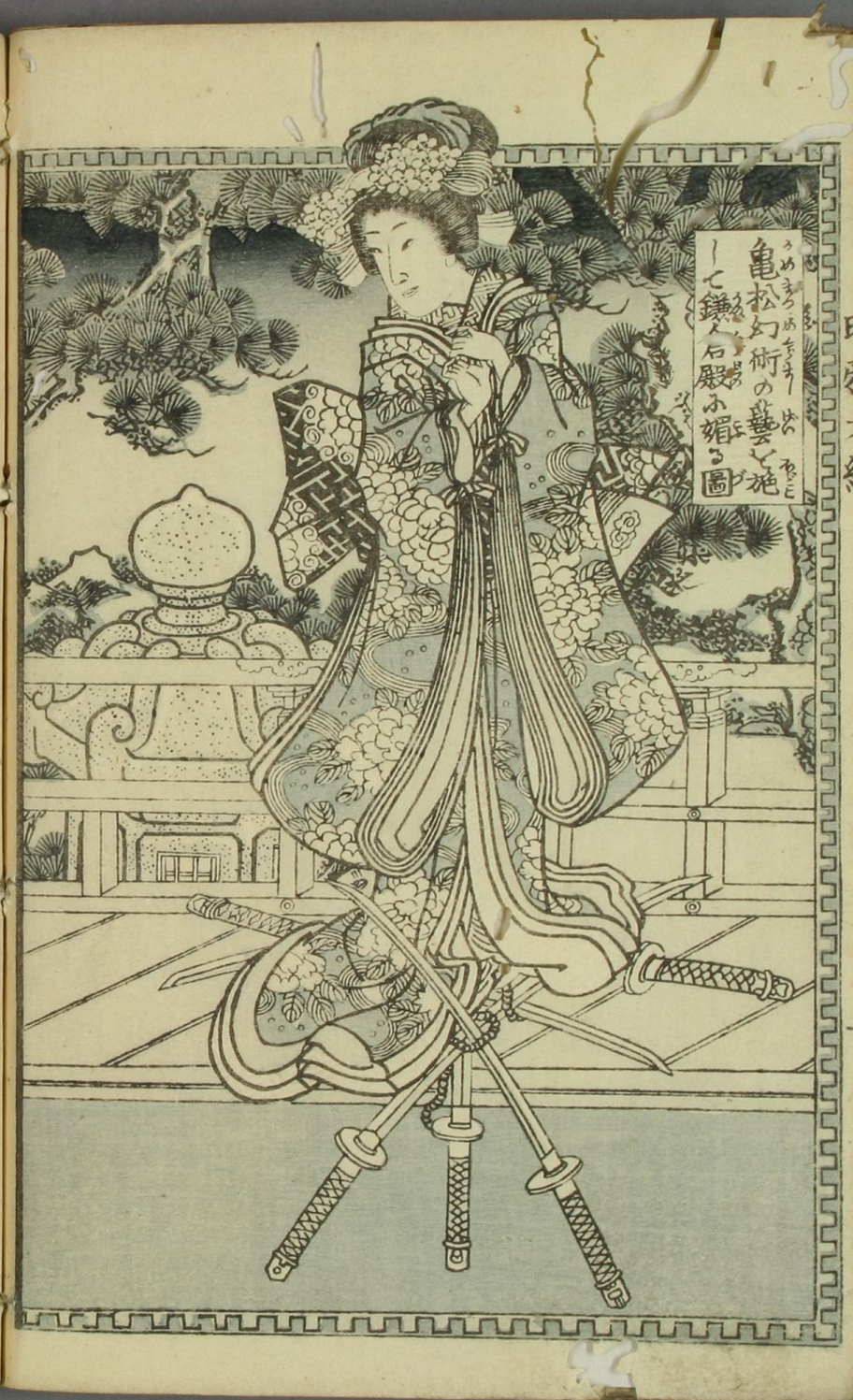
明鴉六輯

日中に三足の烏有と歴天記の妄説あれど烏百度ハ頭八咫烏の神霊を祀るまつる。一休ハ扇ふ画き枇杷葉湯ハ紋ふ貼ふ。憂を報ず人ふ忠あり。餅を哺て母ふ孝あり。於保乎曽村里ハいづくろ悪まむ。此明鴉の一編も太虚まで。ぞの小説あり。忠僕孝婦の信義を著し。妖術魔法ハ霊鳥乃鴉ふ摧き執行き怨魂ハ禪僧の徳ふ消る。仕組ハ追々綴るべれど。勸懲の意を守るまみを。大道の賣薬あらで毒ふもあらず。薬にもなるまし。然るに是ハ先作者幸ひのを評判うく。烏の啼ぬ日ハ有ぢ。販ぬ日ハと問屋の怡悦嗣出を四編五編ふつづき。猶六編ふと註文ふ烏の行水忽転しく。又一帙脱稿了。

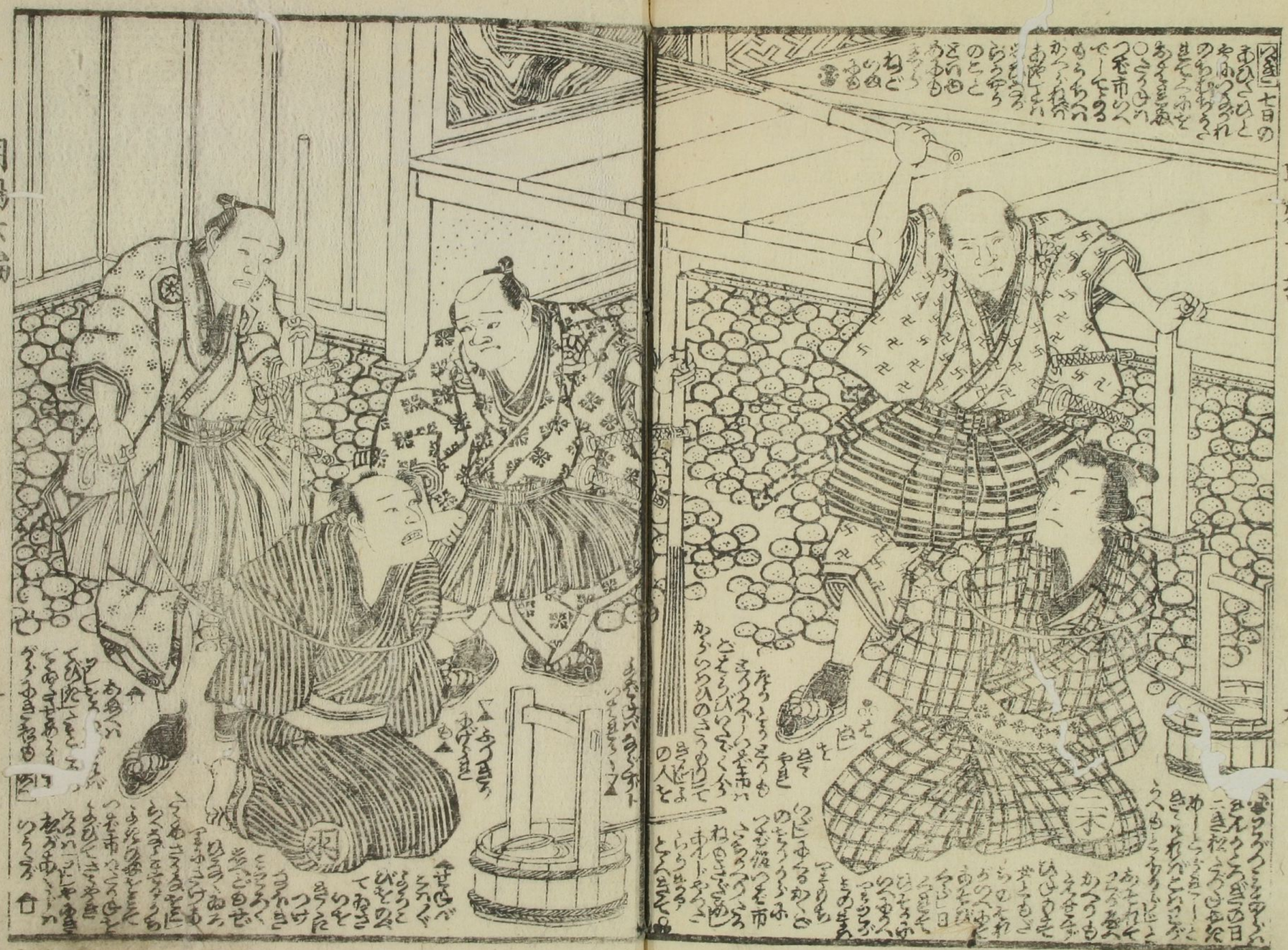
文久三春葵兒

柳亭種彦

鎌倉管領
足利左兵衛督持氏卿
口惡三葉ハ亀松ガ
兆魂の昔語のさゑと
巻術くらべの前
ふ加へ元ゑ
月鳥六編


亀松幻術の藝を施
して鎌倉石殿を媚る圖
時代集成

亀松蛇責不遭圖
國貞申有の年を
描て大惨しく且凶
つ不祥しとゝ演戯
めんとる体よ換つ
氏郷北之方
川淀御前



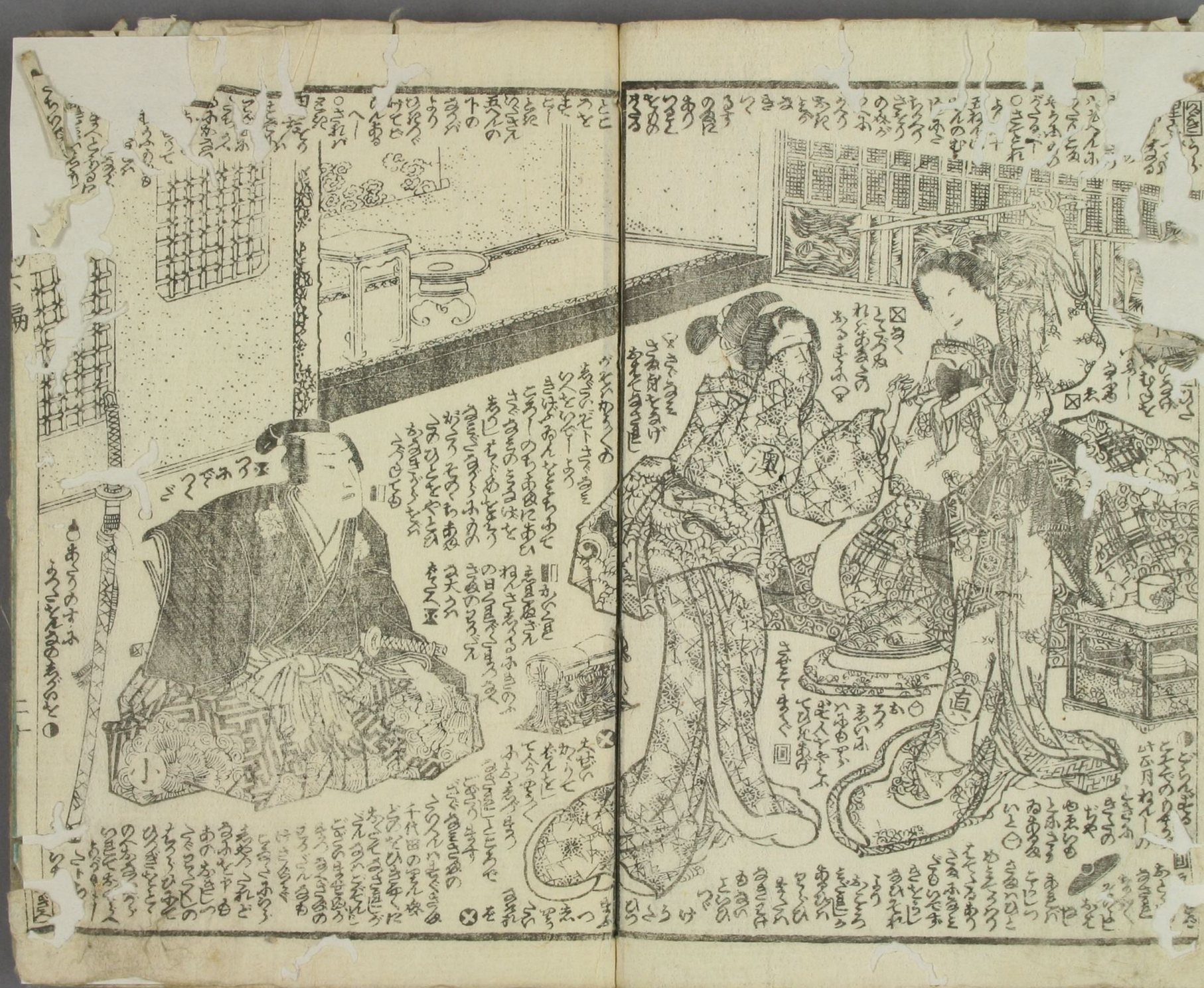
種太郎作
國貞畫

三

亀

鶴

鐘



文久四年 子陽春開板 標

弘法大師 筆海四國聞書 柳亭種彦作 海蝶操國貞画
傳記新話
価特製郎

価浦里 明鴉墨画廼福 三亭春馬 柳亭種彦合作 梅蝶操國貞画
幕末十年間の事年出板

假名情談戀哇倉 三編 如皇作 四編 國貞画

重誕姫の車 七編 種彦作 十八編 國貞画

天晴日曜帥紙 京山作 大尾 豊國画

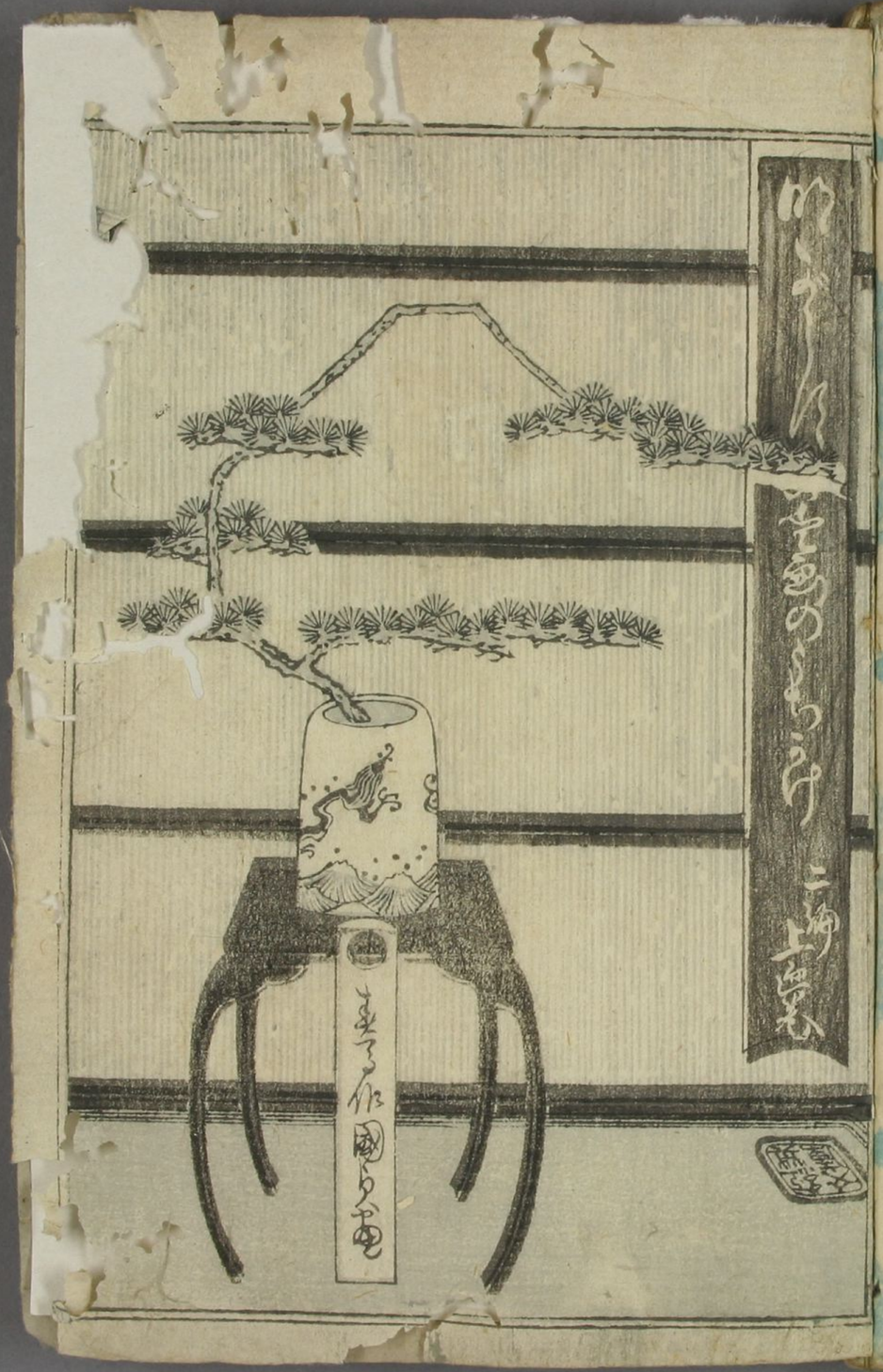
花封じ合玉章 八編 種彦作 九編 國貞画

重傳幻日記 二編 春水作 一三編 國貞画

八犬傳大の反紙 四編 柳亭作 四十五編 國貞画

二本反紙問屋

南傳馬町壹丁目 鶴屋吉藏 板


三海上巻